

<p>【技術の名称】 高松ブレース(TB)耐震改修工法 ー楔デバイスを用いて座屈現象を起こさず完全弾塑性型復元力特性を有するブレースによる耐震改修工法ー</p>	<p>性能証明番号：GBRC 性能証明 第09-16号 性能証明発効日：2009年11月10日</p> <p>【取得者】 高松ブレース株式会社</p>
---	--

【技術の概要】

本ブレースは、端部に楔デバイスを設置したもので、その特徴は、圧縮方向変形時に楔台と楔受けとの間に生じる隙間にバネの復元力で楔を貫入させ、引張方向のみに応力と変形が生じ、座屈現象を起こさないことである。本ブレースはブレース降伏耐力の50%を初張力として導入すること、およびブレースをX型に配置することで地震時における復元力特性を完全弾塑性型とすることができる。

【技術開発の趣旨】

既存屋内運動場等の耐震改修には細長いブレース（細長比 λ が120以上）を用いることが多いが、このようなブレースは座屈現象を生じてスリップ型復元力特性を示す。本工法はこのような問題点を解消し、ブレースが完全弾塑性型復元力特性を示すように開発したものである。

【性能証明の内容】

申込者提案による高松ブレース(TB)耐震改修工法的设计・施工指針に従って設計されるブレースは、座屈現象を起こすことなく完全弾塑性型復元力特性を有すると判断される。更に、既存屋内運動場等の耐震改修設計に用いる場合には、設計・施工指針に示す終局耐力、変形性能（耐震診断に用いる靱性指標F値）を有していると判断される。

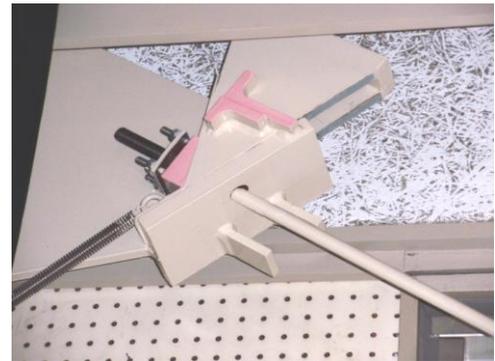


写真1 楔デバイスの周辺

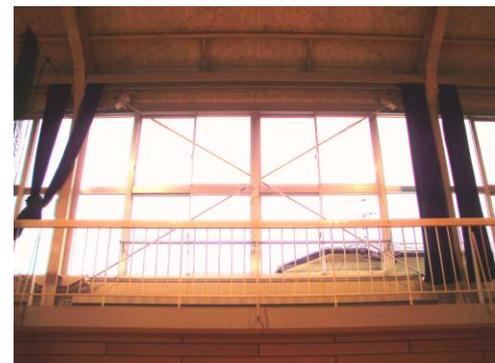


写真2 TB耐震改修工法の実施例

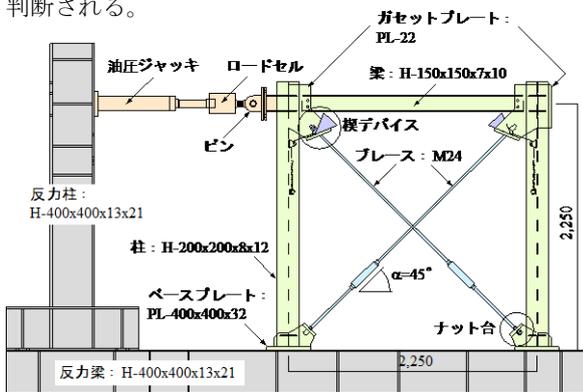
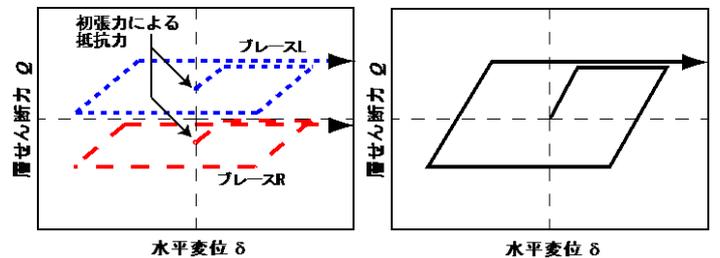


図1 実験装置と試験体



(a) 各ブレース (b) 架構(両ブレースを併せた場合)

図2 TB耐震改修工法の復元力特性

【本技術の問合せ先】

高松ブレース株式会社

担当者：高松隆夫

〒739-0412 広島県廿日市市宮島口西一丁目 4番 1-1007号

TEL：0829-56-5527 FAX：0829-56-5527